

子供たち同士助け合おう

AMD A 大地震の中国リージョン地区

AMD A 学校再建を計画

AMD A (アジア医師連絡協議会) はマクニチュード7.0の地震で半数以上の学校が被害を受けた中国雲南省西北部の麗江納西族自治州リージョン地区の学校再建を計画、協力を呼び掛けている。AMD Aが学校を作るプロジェクトを実施するのは初めて。

地震は三月三日に発生し、よると、納西族は教育熱心な。AMD Aによると、死で、子供たちは板張りの仮校舎で勉強を続けている。一時帰宅者三百人、重傷者三千七百、設校舎で勉強を続けている。三十八人など死傷者は約一。しかし、再建は各村単万四千人。三十四万戸が全壊、四十八万九千戸が損壊なく、本校舎建設のめどがたっていない村も多いという。たつ三割が被災し、小、中、

内の小中学校を中心に協力を呼び掛けている。一時帰国中の笹山さんは「支援したいことは山ほどあるが、学校再建はその中の一つ。多くの人の協力で応援できれば」と話している。

募金は通信欄に中国学校再建と記入し、郵便振替でAMD Aの口座012501240709へ。問い

学校など九百四十六の学校のうち五百十校が全壊な家の多く、百円でれんが十の被害を受けたという。個が買えることから、AM

現地入りしたAMD A調D Aでは、「子供たち同士助け合おう」を

警員の笹山徳治さん(四五)の小さな助け合いを」と県284・7730へ。



仮設校舎で勉強する子供たち (AMD A提供)

地震で崩壊したりリージョン地区の小学校